

世界遺産一覧表記載資産の保全状況の概要について  
(この一年間に保全状況に関連して大きな動きのあったもの)

平成 27 年 4 月 20 日  
文化庁記念物課

【姫路城】

- ・ 平成 21 年 4 月より行っていた大天守の修理事業が、昨年度末に完了。
- ・ 事業期間：6 力年。総事業費：23 億円強。

【古都京都の文化財】

- ・ 賀茂御祖神社（下賀茂神社）の緩衝地帯において、開発計画（集合住宅）があり、京都市の指導により改善された内容で詳細設計が進められている。
- ・ 宇治上神社の緩衝地帯において宅地開発計画があり、現在宇治市が景観保全について協議中。

【白川郷・五箇山の合掌造り集落】

- ・ 本年は登録 20 周年に当たるため、10 月から 11 月にかけて記念シンポジウム等を行う予定。

【原爆ドーム】

- ・ 緩衝地帯内の太田川において、飲食施設（かき船）の係留場所を変更する計画があり、被爆者団体等から懸念が表明された。

【古都奈良の文化財】

- ・ 昨年度末までに、世界遺産としての包括的保存管理計画が策定された。今後、英語版を世界遺産センターに提出予定。
- ・ 若草山（緩衝地帯）においてバスによる移動支援機能の導入について、景観への負の影響が生じないように、慎重に検討されている。

#### 【紀伊山地の霊場と参詣道】

- ・ 平成23年12号台風により、三重県内6箇所では被害があった。被害が大きかった御浜町横垣峠道については、紀伊山地の霊場へ参詣する道という、文化財としての本質的な価値の維持を目的とした復旧計画を、御浜町が平成24年度に策定した。平成25年度に復旧計画に基づいて文化庁国庫補助金により復旧事業を実施し、平成26年3月に完了した。ただし、一部に山腹が崩壊して地形が変化したことで原形への復旧が困難な区間が存在し、平成27年3月1日現在、その区間については治山工事が継続中である。

#### 【富士山-信仰の対象と芸術の源泉】

- ・ 別紙参照

#### 【富岡製糸場と絹産業遺産群】

- ・ 平成26年2月の大雪被害の復旧については、乾燥場以外の箇所については全て完了。被害が大きかった乾燥場については、解体調査を終え、5カ年の予定で整備（復旧）事業を実施中。
- ・ 西置繭所については、現在仮設解体工事を実施中。長期にわたって工事が続くため、仮設覆屋に見学施設を設ける予定。
- ・ この他、便所等便益施設の整備事業を実施中。また、発掘調査、公開活用の為に必要となる設備等（空調など）の設置を行っている。